

<H16-1-A : 解説>

1. 問題文のとおり
2. 「基線の長さにかかわらず常に」ではなく「基線が長大な（10km 以上）ときは」となる。
3. 電子基準点のみの場合、点検測量は問題文のとおり。
4. 問題文のとおり。
5. 問題文のとおり。

解答：2

<H16-1-B : 解説>

基準点測量における基本事項である。文書ごと覚えておく必要がある。

ア 平均計画図 イ 選点図 ウ 平均図 エ 観測図

解答：3

<H16-1-C : 解説>

$$D \cos \alpha_m \cdot R / (R + H_m + H_g + i_m) = 2,000.00\text{m} \cdot \cos 4^\circ 0' 0'' \times 6370 / 6370.664185 = 1,994.92\text{m}$$

$$\alpha_m = (\alpha_1 - \alpha_2) / 2 ; H_m = (H_1 + H_2) / m ; H_g = 47.00\text{m} \quad (\text{問題文より})$$

$$i_m = i_1 = i_2 = f_1 = f_2 = 1.30\text{m} \quad (\text{問題文より})$$

本来は $(i_1 + i_2) / 2$ と $(f_1 + f_2) / 2$ の平均を使う。

解答：2

<H16-1-D : 解説>

セオドライト（トランシット）の誤差とその消去法は、確実に覚える必要がある。

正反で消去できない誤差の組合せは、次の通り。

- a. 鉛直軸誤差 d. 目盛盤の目盛誤差

解答：1